

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-1	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送企画課、営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供	年度	R5	
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスと地下鉄の連携強化(乗継ぎ利便性の向上)					
概要	バスと地下鉄の乗継ぎ、南北線と東西線の乗換えを考慮したダイヤの設定や、地下鉄駅に接続するバスの発車時刻をデジタルサイネージに表示することなどにより、乗継ぎ利便性を向上させます。また、icscaを使ってバスと地下鉄を乗り継いだ場合にicscalに乗継ぎポイント(※1)を付与することで乗継ぎ利用を促進します。また、JR線、地域交通、シェアサイクル等多様な交通機関との連携も検討していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	乗継ぎを考慮したダイヤの検討・実施									
	地下鉄LCDの運用									
	乗継ポイントの実施									
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・LCD(※2)故障への改善策として、屋外用LCDへの更新を検討。費用対効果が見合わないことから保守管理でカバーするように調整。 ・市バスと地下鉄・JR線における乗り継ぎ利便性向上のため、乗り継ぎ時間を確保したダイヤを設定。 ・乗継ポイント付与実績 55,429,774ポイント									
	【令和4年度】 ・東西線LCDの機器更新を実施。 ・市バスと地下鉄・JR線における乗り継ぎ利便性向上のため、乗り継ぎ時間を確保したダイヤを設定。 ・南北線と東西線の乗り継ぎ改善を考慮した、地下鉄ダイヤを検討し、作成した(◆4-1-16に関連記載あり)。 ・乗継ポイント付与実績 56,131,309ポイント									

【年度計画及び実績】

課題	LCD表示器が経年劣化や環境特異の事情により、故障が増加している。		
実施内容	・南北線LCDの機器更新及び適切な運用保守。 ・実際に地下鉄駅へ赴き、ホームから地上のバス乗り場までの移動にかかる所要時間を計測する。	数値目標	
	予定	実績	
上期	・～9月 南北線LCD表示器機器更新の業務委託契約締結 ・7月 地下鉄ダイヤ改正(南北線と東西線の乗り継ぎ利便性向上)	・8月 南北線LCD表示器機器更新の業務委託契約締結 ・7月 地下鉄ダイヤ改正(南北線と東西線の乗り継ぎ利便性向上)	
下期	・10～3月 南北線LCD表示機更新工事の実施 ・11～12月 次期ダイヤ改正作業時に、地下鉄の到着時刻と地下鉄駅を起点とするバスの出発時刻を調整する。	・2～3月 南北線LCD表示機更新工事の実施 ・11～12月 ダイヤ改正作業時に、地下鉄の到着時刻と地下鉄駅を起点とするバスの出発時刻を調整した。	
定期的な取組み	・LCD表示機の不具合対応等の運用保守業務 ・乗継ポイントは(必要に応じて)制度見直し及び運用変更	・LCD表示機の不具合対応等の運用保守業務 ・乗継ポイントの付与による乗継促進を継続実施	

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	・2～3月に南北線LCD表示機更新工事を実施した。 ・乗継ポイントの付与による乗継促進を継続して実施した。	数値目標の達成状況
次年度に向けて				

【備考】

※1「乗継ポイント」とは、地下鉄と市バス、または地下鉄と宮城交通・ミヤコーバス(高速バス除く)を60分以内に乗り継ぐとポイントが貯まる制度です。 仙台市交通局ウェブサイト「icscaのポイント」 ※2「LCD」とは、地下鉄駅構内に設置している市バスのリアルタイム運行情報をお知らせしている液晶のディスプレイのことです。										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-2	分類	共通	担当課	輸送企画課・営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供			年度	R5
取組	利用しやすい環境整備				個別取組	分かりやすい案内サイン					
概要	案内サインの更新に合わせて、高齢者や障害のある方、仙台市を初めて訪れる旅行者等にも分かりやすく視認性に優れたものへ見直していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	確認しやすい系統番号表示を検討・導入 案内サインの改善										
これまでの取組み状況	・案内サインの更新に合わせて、高齢者や障害のある方、仙台市を初めて訪れる旅行者等にも分かりやすく視認性に優れたものへ見直しを行っている。 ・令和5年4月から全国都市緑化仙台フェアが開催されることから、全国都市緑化フェア推進室（建設局）と駅構内における案内サインの掲示物・設置場所等について協議し、役割分担を行うとともに、通路床面に案内ラインを新設する等、既存サインの改善を図った。また、令和5年3月に仙台駅西口駅前広場再整備が完了することから、完了後のサインについて、道路施設課（建設局）と調整を行った。 【確認しやすい系統番号(※1)表示の検討・導入】 令和3年度 仙台駅西口バスターミナルへの系統別案内表示シートの床面設置(9番～11番) 令和4年度 仙台駅西口バスターミナル改修工事完了に伴うのりば再編に合わせた系統別案内表示シートの床面設置(仙台駅前5番・6番・9番～11番・13番～15番・17番～19番・27番・28番) ※令和5年3月実施予定 分割停留所掲示(※2 20箇所/全99箇所)										

【年度計画及び実績】

課題	系統番号は一般的に広く使われているGoogle Mapの経路案内で用いられているが、バス停留所には系統番号が小さく表記されており、お客さまが見つけづらい。訪日外国人観光客の増加を見込んだ駅構内サイン等の追加が必要。		
実施内容	・駅などの複数系統が乗り入れ、バス停留所が複数ある箇所を対象として、バス停の限られた掲示スペースの空きを活用してお客さまが確認しやすい表示に改善する。 ・駅構内サイン等への案内言語の追加を検討、実施する（◆3-2-3に関連記載あり）。	数値目標	分割停留所掲示（※2 35箇所/全77箇所）
	予定		実績
上期	・4月 全国都市緑化フェア開催に向けた準備（駅構内の掲示物等） ・7月 駅構内サイン等への案内言語の追加 ～9月 分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を整理順次掲示 ・系統番号の掲示に必要な資材（アクリル板等）の購入予算を要求		・4月 全国都市緑化フェア開催に向けた準備（駅構内の掲示物等） ・7月 駅構内サイン等への案内言語（繁体字）の追加 ～9月 分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を計18箇所実施した。
下期	～3月 分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を整理順次掲示		～3月 分割停留所に掲示する系統番号毎の乗り場案内を計16箇所実施した。
定期的な取組み	お客さまのご意見等からより分かりやすい案内サインを検討		お客さまのご意見等からより分かりやすい案内サインを検討

【評価】

令和5年度評価					
評価	○	進捗状況・評価の説明	・全国都市緑化フェア開催に向け、駅構内にフェア開催案内のポスター等を掲示した。 ・駅構内案内サイン等に繁体字を追加した。 ・分割停留所に掲示する乗り場案内については、34か所の掲示を行った。	数値目標の達成状況	分割停留所の35か所目標に対し、34か所の達成であった。
次年度に向けて	さらに分かりやすい案内サインについて、引き続き検討していく。 分割停留所に関しては、乗り場案内を掲示する。				

【備考】

※1 系統番号についてのご案内は、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト[系統番号のご案内] ※2 「分割停留所」とは、複数の行先が異なる路線が乗り入れるため、3箇所以上に分けて標識を設置しているバス停留所のこと。通常のバス停留所は上・下線で1箇所ずつ、計2箇所に標識を設置している。	
--	--

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-3(バス)	分類	共通	担当課	運輸サービス課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスや地下鉄におけるWi-Fiサービスの提供						
概要	るーぷる仙台(※1)車内、地下鉄駅構内においては無料Wi-Fiを利用できる環境(※2)となっています。お客さまの利便性を維持すべく、Wi-Fiサービスの提供を継続します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	Wi-Fi環境の維持										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 るーぷる仙台の車内およびバス停留所でのWi-Fiサービスの提供 【令和4年度】 るーぷる仙台の車内およびバス停留所でのWi-Fiサービスの提供										

【年度計画及び実績】

課題	・お客さまの利便性を維持するため、今後もWi-Fiサービスの提供を継続する必要がある。 ・Wi-Fiサービスを無料で提供することへの利用者ニーズの把握。		
実施内容	るーぷる仙台の車内およびバス停留所でのWi-Fi環境を今後も維持できるよう、仙台市観光課と調整する。	数値目標	
	予定	実績	
上期			
下期			
定期的な取り組み	るーぷる仙台の車内及びバス停留所でのWi-Fi環境の継続	るーぷる仙台の車内及びバス停留所でのWi-Fi環境の継続	

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	るーぷる仙台の車内及びバス停留所でのWi-Fi環境を継続した。また、次年度以降もWi-Fi環境を維持するよう仙台市観光課と調整を行った。	数値目標の達成状況
次年度に向けて	仙台市観光課と調整を行った上、るーぷる仙台の車内及びバス停留所でのWi-Fi環境を継続する。			

【備考】

- ※1「るーぷる仙台」とは、仙台市中心部の観光スポットを結ぶ循環バスのことです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。
 (公財)仙台観光国際協会ウェブサイト「るーぷる仙台」(外部サイトを表示します)
- ※2「るーぷる仙台」の車内及びバス停留所におけるWi-Fi環境については、下記リンク先の「るーぷる仙台車両情報」をご確認ください。
 (公財)仙台観光国際協会ウェブサイト「るーぷる仙台とは」(外部サイトを表示します)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	営業課	戦略	快適なお客さまサービスの提供			年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バスや地下鉄におけるWi-Fiサービスの提供						
概要	るーぷる仙台車内、地下鉄駅構内においては無料Wi-Fiを利用できる環境(※1)となっています。お客さまの利便性を維持すべく、Wi-Fiサービスの提供を継続します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	無料Wi-Fiサービスの提供 										
これまでの取組み状況	地下鉄駅構内におけるWi-Fiサービスの提供に必要な機器について、目的外使用許可により、駅構内の一部の使用を許可するとともに、交通局HPでWi-Fiサービスについての周知広報を行った。また、NTTドコモ及びソフトバンクからWi-Fiサービス終了(令和4年12月)の決定を受け、利用者への周知を図った。										

【年度計画及び実績】

課題	各種Wi-Fiサービスはキャリアにより提供されているが、携帯料金の値下げによるキャリアの経営状況の悪化により、他の交通事業者と同様、Wi-Fiサービスの継続が難しい局面を迎えている。		
実施内容	無料Wi-Fiのサービスを継続できるよう、必要に応じて実施・設置主体と調整を行う。		数値目標
	予定		実績
上期			
下期			3月 Wi-Fiサービス終了(au)
定期的な取組み	無料Wi-Fiサービス提供の継続		無料Wi-Fiサービス提供の継続(令和5年度末でサービス終了)

【評価】

令和5年度評価			
評価	△	進捗状況・評価の説明	各種Wi-Fiサービスはキャリアにより提供されているが、携帯料金の値下げによるキャリアの経営状況の悪化により、他の交通事業者と同様、無料Wi-Fiサービスの提供が終了することとなった。 現在、地下鉄駅構内でのお客様の通信環境の向上を目指し、情報収集を行っている。
次年度に向けて	高速大容量通信等が可能な5Gの令和7年度の導入を目指す等、引き続き、お客様サービスの向上を目指す。		

【備考】

※1 「みやぎ Free Wi-Fi」、「SENDAI Free Wi-Fi」、「東北Wi-Fi」は、キャリアの設備を使用して、駅構内のWi-Fiサービスを提供していたことから、キャリアのWi-Fi機器の撤去が決まり、地下鉄駅構内のサービス提供も終了となった。			
※2 無料Wi-Fiサービスの提供状況については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「駅構内公衆無線LANサービス」			

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-4	分類	バス	担当課	整備課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備				個別取組	人とまちに優しいバス車両の導入					
概要	高齢者や障害のある方でも乗り降りの負担が少ない、かつ、排出ガスによる環境負荷の少ない国の最新の自動車排出ガス規制に適合したアイドリングストップ装置付きノンステップバス車両を計画的に導入し、人にもまちにも優しいバスサービスの提供を目指します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	アイドリングストップ装置付きノンステップバスの計画的な導入										
			電動バスの検討・導入								
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・ノンステップバス(大型23両、中型2両)計25両導入 (令和4年4月1日時点の導入率86.3%)										
	【令和4年度】 ・ノンステップバス(大型22両＋一ふる仙台1両)計23両導入 (令和5年4月1日予定の導入率91.8%)										

【年度計画及び実績】

課題	・全車ノンステップ化に向けた計画的な導入が必要である。 ・車齢や車両の状態から計画的な更新に努めてきたが、厳しい経営状況を鑑み新車の購入台数について、車両更新計画の見直しが必要。 ・改正省エネ法の施行により、保有台数に占める非化石エネルギー自動車に関する2030年度の導入目標(保有台数の5%)が設定されたため、電動バスの導入に向けた調査・検討を行う必要がある。		
実施内容	アイドリングストップ装置付きノンステップバスを導入する。 電動バス導入に向けた調査・検討	数値目標	ノンステップバスを28両導入する。 (大型23両、中型5両)
	予定	実績	
上期	【ノンステップバスの導入】 4～5月車両の仕様書作成及び契約締結依頼 8～9月バス車両購入契約 【電動バス】 「電動バス導入調査・検討業務委託」に向けた仕様整理	【ノンステップバスの導入】 7月 バス車両購入契約締結(大型23両、中型5両) 9月 次年度以降の更新計画について見直しを実施 【電動バス】 8月 「電動バス導入調査・検討業務委託」に向けた仕様を整理し、見積書の作成を依頼する等、令和6年度の業務委託の発注に向け準備を行った。	
下期	【ノンステップバスの導入】 10月車両仕様協議 1～3月新車納車 【電動バス】 次年度の「電動バス導入調査・検討業務委託」に向けた予算要求	【ノンステップバスの導入】 1月 中型ノンステップバス5両納車 3月 大型ノンステップバス23両納車 【電動バス】 令和8年度の「電動バス導入調査・検討業務委託」発注に向け、他事業者や自動車メーカーの電動バス関連の情報収集を行い、仕様書等の精査に努めた。	
定期的な取組み			

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	数値目標の達成状況	ノンステップバスを28両(大型23両、中型5両)導入した。達成率は100%
次年度に向けて	【ノンステップバスの導入】 厳しい経営状況により、これまでより購入車両数を減らすこととなるが、予定数両の購入を確実に実施し、ノンステップ化率100%を目指す。			
	【電動バス】 電動バス導入に向けた情報収集に努めるとともに、導入計画の委託発注に向け、諸条件について部内で整理する。			

【備考】

※現在交通局に在籍している車両の紹介は、下記リンクよりご確認ください
[仙台市交通局ウェブサイト「市バスの車両」](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-5	分類	バス	担当課	輸送企画課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	バス待ち環境の向上						
概要	バス停上屋、ベンチ、接近表示器等(※1)を整備し、お客さまに快適なバス待ち環境を提供していきます(◆3-2-1に関連記載あり)。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	バス停上屋やベンチを設置										
	接近表示器を設置										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 各設備の設置箇所数 ・上屋:15箇所(内 広告付き上屋14箇所) ・ベンチ:3箇所 ・接近表示器:4箇所 【令和4年度】 ・上屋6箇所(内 広告付き上屋4箇所) ・接近表示器:3箇所										

【年度計画及び実績】

課題	地域からの要望は多いものの、全てを直ちに対応していくことは困難である。なお、広告付き上屋については、社会情勢を受けた広告料収入の変動や物価高騰等の影響のため、設置事業者による上屋の設置数が毎年変動する(※2)。		
実施内容	年度毎に各設備の設置目標数を設定し、優先順位をつけながら着実に実行する事で、バス待ち環境の向上を計画的に進めていく。	数値目標	・上屋:8箇所/年度(内 広告5箇所) ・接近表示器:3箇所/年度
	予定		実績
上期	～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係公官庁との協議 広告付き上屋設置工事 デジタルサイネージ広告付き上屋試験設置(4箇所) ～9月 現場確認・設置箇所の選定(広告付き以外の上屋)		～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係公官庁との協議 広告付き上屋設置工事(2箇所) デジタルサイネージ広告付き上屋試験設置(4箇所) ～9月 現場確認・設置箇所の選定(広告付き以外の上屋)
下期	12月～ デジタルサイネージ広告付き上屋本格稼働(4箇所) ～3月 設置工事(広告付き上屋含む) 使用開始		12月～ デジタルサイネージ広告付き上屋本格稼働(4箇所) 2月 接近表示器設置 ～3月 設置工事(広告付き上屋含む)5か所 使用開始
定期的な取組み	・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)		・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認をし、必要性の高い箇所への設置を設置事業者に対し促す等の調整(広告付き上屋)

【評価】

令和5年度評価					
評価	○	進捗状況・評価の説明	・広告付き上屋 4か所(台原入口(下)・東北大学病院前①②・越路(上)) ・宝くじ上屋 1か所(陸上自衛隊仙台駐屯地前(上)) ・その他の上屋 2か所(鶴谷特別支援学校前(下)、八木山南団地入口(上)) 合計7か所設置した。 ・接近表示機 3か所(鶴ヶ谷団地入口①、中江一丁目(上)、南光台南一丁目(旭ヶ丘方面))に設置した。	数値目標の達成状況	・上屋:7か所/年度(内 広告4か所) ・接近表示器:3か所/年度
次年度に向けて	広告付き上屋は、設置事業者都合で目標未達の状況が続いているため、設置事業者との協議を重ね目標数の設置を進めていく。				

【備考】

※1「接近表示器」～ 一部のバス停留所に設置しているバスのリアルタイム運行情報を表示する機器。
 ※2 社会情勢を受けた広告料収入の変動や物価高騰等の影響のため、設置業者による上屋の設置数が毎年変動していたが、令和5年度は令和5年7月末時点で2箇所が設置完了見込みであり、加えて年度内に5箇所前後の設置を計画している。また、令和4年度に設置業者より提案を受け、令和5年度中の稼働を計画しているデジタルサイネージ広告付き上屋は、令和5年8月末時点で4箇所試験稼働を行い、10月以降に本格稼働開始見込

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-6	分類	バス	担当課	整備課	戦略	快適なお客さまサービスの提供	年度	R5	
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	LED行先表示器の機能向上					
概要	導入から15年以上経過し老朽化による故障も発生しているオレンジ色LED行先表示器について、白色LEDを使用し、より明るく遠くからでも見やすい機器に更新します(※1)。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	・長町(営)車両及び新車購入車両へ設置	・実沢(営)、七北田(出)車両及び新車購入車両へ設置	・東仙台(営)車両及び新車購入車両へ設置	・川内(営)、白沢(出)車両及び新車購入車両へ設置	・霞の目(営)車両及び新車購入車両へ設置					
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・7月 障害者団体へ、白色LED行先表示器の視認性のデモを実施 ・長町営業所所属車両他75両へ白色LED行先表示器を設置									
	【令和4年度】 ・実沢営業所及び七北田出張所所属車両他、121両へ白色LED行先表示器を設置									

【年度計画及び実績】

課題	昨今の原油価格高騰及び半導体不足による製品の供給体制。		
実施内容	東仙台営業所所属バス車両のLED行先表示器を更新する。		数値目標 84両分の機器を更新する。
	予定		実績
上期	4月～9月 営業所車両への取付け実施		4月 東仙台分53両更新
下期	1月～3月 新車購入車両への取付け実施		12月 中古車3両取付 1月 新車(中型)5両取付 3月 新車(大型)23両取付
定期的な取組み			

【評価】

令和5年度評価			
評価	◎	進捗状況・評価の説明	予定数量(84台)を設置し、行先表示器が白色LEDの車両の割合は60.1%となった。 数値目標の達成状況 84台取付、達成率100%
次年度に向けて	予定数量の確実な設置に努める。		

【備考】

※1 白色LEDを使用した行先表示器への更新については、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト【白色LEDを使用した行先表示器への更新】](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-7	分類	地下鉄	担当課	施設課、車両課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	南北線車両更新に合わせた利便性向上						
概要	南北線は、駅ホームと停止した車両の間に隙間と段差があり、車椅子使用者が乗車する際に、駅務員が渡り板を設置し、介助を行っています。南北線車両更新に合わせて、その段差を縮小するとともに、南北線各駅のホーム乗降口に隙間調整材を設置(令和7年度末全駅完了予定)することで、駅ホームと車両間の隙間を縮小し、車椅子使用者がお一人でも乗降できるようにします。また、新車両には車椅子やベビーカー等でご利用いただけるスペースを1両に1箇所設けるとともに、便利な情報を提供できる案内ディスプレイや、車内の防犯・テロ対策を目的とした監視カメラの設置を検討していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	隙間調整材の設置										
	1駅	2駅	4駅	5駅	5駅						
	仕様検討・車両製造・試験			車両導入							
				1編成	2編成	3編成	4編成	3編成	4編成	2～5編成	
これまでの取組み状況	【隙間調整材の設置】										
	令和3年度 長町南駅に設置										
	令和4年度 仙台駅、長町一丁目駅に設置										
	(◆3-2-1シートに関連記載あり)										
	【車両】										
	令和3年度 市民投票により車両の新デザインを決定した。										
	バリアフリー意見交換会を障がい者団体と行い、頂いた意見を車両仕様に反映した。										
	令和4年度 各製造請負業者と綿密に協議を行い、工程に遅れなく車両仕様を決定した。										
	運輸局に確認申請を実施した。										
	(◆1-3-4シートに関連記載あり)										

【年度計画及び実績】

課題	【隙間調整材の設置】 過年度に実施した工事において得られた施工可能量や、施工上の課題を踏まえ、発注時期を調整する。		
	【車両】 ・新型車両の試験工程は、昼夜・土日を問わず日々複数業者の出入りがあることから、作業の安全、作業員の体調に十分留意し進める必要がある。 ・夜間走行試験の日程は他の夜間作業と事前調整のうえ決定した内容であり、遅れや変更が生じないよう工程管理を確実に行う必要がある。 ・昼間の走行試験では、営業列車の運行に影響を与えないようにする必要がある。		
実施内容	【隙間調整材の設置】 過年度工事で得られた施工監理、安全監理に係る知見を活かし、令和7年度末の全駅完了に向けて、着実に工事をすすめる。 【車両】 ・新型車両を富沢車両基地へ搬入し、基地内試験調整および本線走行試験を行う。 ・入場者教育、日々の体調管理、作業員相互の体調確認を徹底し、安全確保に努める。 ・関係各課所と試験内容および影響範囲を共有のうえ、適宜協議する。 ・昼間の走行試験中に想定外の事態が発生した場合は、直ちに試験を中止し、営業列車の運行を最優先に対応を行う。		数値目標
	【隙間調整材の設置】 令和4年度から継続している4駅分の工事を完了させ、新たに4駅分の設置工事を発注する。 【車両】 1編成(4両)搬入		
予定		実績	
上期	【隙間調整材の設置】 ・施工監理、工事の発注 【車両】 ・関係各課所、製造請負業者と車両搬入の調整 ・新型車両1編成目の車両搬入、基地内試験調整 ・本線の走行試験について市民広報の実施 ・保守部門と協議し、車両検査の内容を検討する ・3000系紹介用のパンフレット、リーフレットの内容について検討する		【隙間調整材の設置】 令和4年度から継続している4駅分の設置は完了した。新たに発注する4駅分(R6年度完了予定)については、契約手続き中。 【車両】 ・関係各課所、製造請負業者と車両搬入の調整を実施した。 ・新型車両1編成目の車両搬入をし、基地内試験調整を実施している。 ・本線の走行試験について市民広報の実施に向けて準備を進めた。 ・保守部門と協議し、車両検査の内容を検討した。 ・3000系紹介用のパンフレット、リーフレットの内容について検討した。
	【隙間調整材の設置】 ・施工監理 【車両】 ・基地内試験調整 ・本線走行試験(深夜及び営業時間) ・保守部門と協議し、車両検査の内容を検討する ・3000系紹介用のパンフレット、リーフレットの内容について検討する		【隙間調整材の設置】 令和4年度から継続している4駅分の設置は上期で完了し、R6年度完了予定の4駅分については、契約済みで施工準備中。 【車両】 ・基地内試験調整を実施した。 ・本線走行試験(深夜及び営業時間)を実施した。 ・保守部門と協議し、車両検査の内容を検討した。 ・3000系紹介用のパンフレット、リーフレットを作成した。
定期的な取組み	【隙間調整材の設置】 ・工事受注者との打合せ		【隙間調整材の設置】 ・工事受注者との打合せを実施

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	数値目標の達成状況	
		【隙間調整材の設置】 隙間調整材の設置について、令和4年度から継続している4駅分の設置は完了し、新たに発注した4駅分については、契約済みであり予定通り進んでいる。 【車両】 予定どおり、新型車両の基地内試験調整と営業線での走行試験を実施している。また紹介用資料の作成を行った。		【隙間調整材の設置】 令和4年度から継続している4駅分の工事が完了したほか、新たに4駅分の設置工事を発注し当年度の目標は達成できた。 【車両】 1編成(4両)を搬入した。
次年度に向けて		【隙間調整材の設置】 過年度に実施した工事において得られた施工可能量や、施工上の課題を踏まえ、発注時期を調整し、着実に工事を進める。 【車両】 令和5年度は順調に推移した。次年度も引き続き試験調整を行い、令和6年秋に営業運行を開始する。		

【備考】

【新型車両の特徴】										
・車内の快適性を向上させるため冷房能力の向上。また、感染症対策として外気導入機能の追加。 ・ホームとの段差縮小・車いすベビーカースペースの増設・液晶の表示器導入などバリアフリー化の推進。 ・防犯対策としてカメラの設置。 ・モーターや制御装置に省エネ機器を採用。 ・トラブルに強い車両にするため、各機器・装置を二重化する等により信頼性を向上。										
※2 新型車両については下記リンクをご覧ください。 ・南北線新型車両3000系特集（交通局HP） ・仙台市地下鉄南北線新型車両3000系 車両搬入～船からの荷下ろし編～（せんだいTube） ・仙台市地下鉄南北線新型車両3000系 車両搬入～夜間運搬・車両組立編～（せんだいTube）										

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-8	分類	地下鉄	担当課	営業課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	地下鉄駅朝ラッシュ時の混雑対策						
概要	新社会人、新入学生が地下鉄を利用し始める年度初めの時期に合わせて、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけによる分散乗車キャンペーン(※1)を実施し、車内混雑を平準化することで、お客さまが快適に地下鉄をご利用いただけることを目指します。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	地下鉄分散乗車キャンペーンの実施										
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・駅構内や車内放送のほか、ホーム階で職員の呼びかけによるキャンペーンを実施(4月:旭ヶ丘駅・薬師堂駅、10月:北仙台駅・連坊駅)										
	【令和4年度】 ・駅構内や車内放送のほか、ホーム階で職員の呼びかけによるキャンペーンを実施(4月:旭ヶ丘駅・薬師堂駅、10月:北仙台駅・連坊駅)										

【年度計画及び実績】

課題	地下鉄の車内混雑を平準化する必要がある。		
実施内容	地下鉄の車内混雑を平準化するため、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけによる分散乗車キャンペーンを実施する。	数値目標	
	予定	実績	
上期	4月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施	4月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施	
下期	10月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施	10月 地下鉄分散乗車キャンペーンの実施	
定期的な取り組み	車内混雑状況の広報(※2)	車内混雑状況の広報 ※上記は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い5/7をもって終了した。	

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	平日朝の通勤通学時間帯の5日間、以下のとおり職員の呼びかけや駅構内・車内放送による分散乗車キャンペーンを実施した。 ・4月17日から21日まで、旭ヶ丘駅及び薬師堂駅において実施。 ・10月16日から20日まで、五橋駅及び卸町駅において実施。	数値目標の達成状況
次年度に向けて	地下鉄の車内混雑を平準化するため、駅構内や車内での放送や職員の呼びかけを行う必要がある。			

【備考】

※1 分散乗車キャンペーンについては、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「地下鉄分散乗車キャンペーンを実施します」										
※2 混雑状況の広報については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「地下鉄混雑状況の公表について」										

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	2-2-9	分類	地下鉄	担当課	電気課		戦略	快適なお客さまサービスの提供		年度	R5
取組	利用しやすい環境整備			個別取組	地下鉄券売機の機能向上の検討						
概要	地下鉄券売機について、設備更新に合わせて、キャッシュレス決済の普及状況を踏まえたクレジットカード対応など券売機の機能向上を検討していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	仕様書作成・予算要求		設備更新								
これまでの取組み状況	【令和3年度】 ・クレジットカード等キャッシュレス決済導入にかかるコスト等を検討した。 費用対効果を検討の結果、クレジットカード等キャッシュレス決済を導入することによるイニシャル・ランニングコストが膨大であることから、関係部署と協議のうえ、令和5年度からの更新には導入しないこととした。										
	【令和4年度】 ・地下鉄券売機の更新に向けて見積仕様書を作成し、メーカーへ見積依頼を行い、次年度の資金計画を立てた。										

【年度計画及び実績】

課題	・令和8年に耐用年数を迎えることから、令和7年度中に券売機及び精算機を更新する必要がある。 ・令和6年度上期から流通開始予定の新札が普及する前までに、各改札コーナーに新札対応の券売機及び精算機を最低1台設置する必要がある。 ・更新業務委託を発注し、受注業者と券売機等の製作仕様を協議する必要がある。		
実施内容	更新業務委託の発注を行う。受注業者決定後、券売機等の製作仕様等を協議する。	数値目標	
	予定	実績	
上期	更新業務委託を発注する。	更新業務委託を発注した。	
下期	券売機等の製作仕様等を受注業者と協議する。	券売機等の製作仕様等を受注業者と協議・決定し、機器製作を開始した。	
定期的な取り組み	自動出改札設備における他事業者の動向や、新技術や新機能についての調査を継続して行う。	他事業者の動向や、決済方式の最新情報について情報収集を行った。	

【評価】

令和5年度評価				
評価	◎	進捗状況・評価の説明	券売機等の製作仕様等を受注業者と協議・決定し、機器製作を開始した。	数値目標の達成状況
次年度に向けて	新札流通に合わせ、各改札に新札対応の券売機及び精算機を設置する必要がある。			

【備考】

--